



**希望ヶ丘フェスティバルにボランティア参加しました！(4月26日)** 本校生徒の多くが通学路として利用している希望ヶ丘前の商店街で毎年行われるこのお祭りに、今年は多くの生徒がボランティアとして参加しました。約200名もの隼人生のボランティアのうち、国際の生徒は何と約100人が活動しました。当日は2万人のお客が訪れ、大変な賑わいを見せました。また生徒会はボランティアバスなどで釜石市を支援していることから、釜石の土産を販売し、和太鼓部は釜石の伝統舞踊である「虎舞」を披露しました。



隼人生は商店街が出す出店のお手伝いをしました。どのお店の方々からもお褒めの言葉をいただきました！もちろん国際語科の生徒も、写真のように大活躍！

### 虎舞を踊った国際語科生徒の感想(2-B ○○○○)



「とにかくハードでした！最初のイメージでは獅子舞の頭が虎の頭になっただけだと思っていました。イメージ通り、虎の頭なんですけど、獅子舞より大きく、2人で虎を動かさなければなりません。私は頭側(前)を担当しましたが、自分だけで動かそうとすると後ろの人がついてこれず、2人で息を合わせながら動かさないといけないので、とても大変でした。虎の中はサウナ状態で、しかもずっと低い姿勢のまま太鼓の音に合わせて動くので、足がパンパンになりました。おもっていたより本当に難しく大変でしたが、釜石市の方々のためと思うと頑張れました。他の地域の伝統芸能に触れるという貴重な体験ができて、良かったです」

### 釜石高校生徒会の生徒もステージで発表！



岩手県立釜石高等学校の生徒会メンバーも、フェスティバル前日から生徒会と共に活動をし、当日は被災地の現状を知ってもらうため、また復興を支援してもらうためステージで発表しました。国際の生徒もボランティアバスでたびたび釜石を訪れているので、再会を喜ぶ姿も見られました。(写真右)

### もちろん、商店街のお祭りを楽しみました！



毎年参加しているソーラン隊もお祭りを大いに盛り上げました。生徒たちはボランティア後、思い思いにお祭りを満喫しました！来年も参加しよう！



**和太鼓部が「第27回 成田太鼓祭」で演奏しました！(4月19日)** 成田山新勝寺の参道沿いの特設ステージで、各都道府県から選りすぐりの全56団体に混じって「隼人太鼓」を披露しました。お客さんと一体となった躍動感あふれるステージで、太鼓を叩く喜びが伝わってきました！



**国際語科和太鼓部の生徒の感想** ★日本一となった成田太鼓祭に今年も参加できたこと、とても誇りに思います。いつか後輩たちには夜、新勝寺で行われる目玉イベント、千一夜舞台にあがってほしいです(3-A ○○○○) ★800人を超える太鼓打ちと一緒に演奏する「千願華太鼓」、ほぼ360度お客さんがいる中での演奏、昨年全国2位の八千代高校さんとのコラボなど、とてもよい経験ができ、演奏することの楽しさを改めて感じることができました(3-A ○○○○)



**アメリカ語学研修でお世話になったCA(カルチュラルアシスタント)のYu-Chi Wangさんが本校を訪ねてくれました！(4月21日)** 今年の3月に行われた研修で生徒のリーダーとして研修に参加してくれたCAが来てくれて、2年生は大興奮！また会おうね！